

# 平成28年度函館市地域包括支援センター事業評価 評価結果

## 函館市地域包括支援センター神山

### 1. センターの概要(平成28年4月1日現在)

センター所在地	函館市神山1丁目25番9号		担当圏域	北東部第3	
圏域の人口	33,547人	圏域の高齢者人口	10,373人	圏域の高齢化率	30.9%
職員数	保健師 1人, 社会福祉士 3人, 主任介護支援専門員 3人, その他 1人(配置基準職員 6人)				

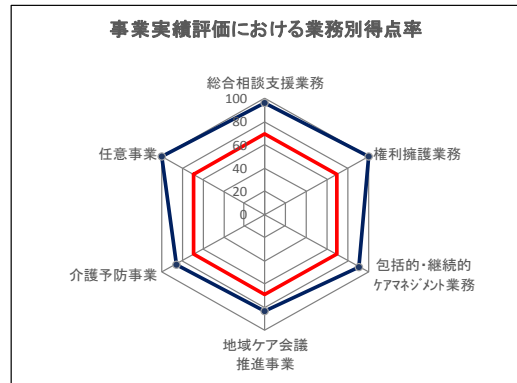
### 2. 事業内容評価(配置基準職員による自己評価に基づく評価)

センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の休職や退職が相次ぎ、職員の入れ替えもあったため、経験年数が少ない職員では評価が低くなっている。情報共有やチームアプローチが難しい場面もあったため、今後は、業務のマニュアル化やミーティング等での情報共有など、改めて体制づくりを行いたい。</li> <li>・ 総合相談支援業務では、全職員問題なく対応できていた。</li> <li>・ 権利擁護業務では、中心となる社会福祉士の退職があったため、センター内での対応方法の検討等が不十分だったケースもあった。</li> <li>・ 地域ケア会議についても、一部の職員が中心となり実施したため、センター内での共有が不十分だった。</li> </ul>

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圏域の見直しがあり、センターの規模が縮小したなかで、経験年数の長い職員の休職や退職が相次いだが、各事業の取り組みに問題はないと評価する。</li> <li>・ 総合相談支援業務、権利擁護業務については、支援計画の組み立てが不十分な職員もいるため、今後は、センターとして、ミーティングの実施方法の工夫など、意識的に職員のスキルアップを図る取り組みを行っていただきたい。</li> </ul>

### 3. 事業実績評価(実績に基づく量的評価)

評価	評価基準(得点率)
A	A 期待以上(87%以上)
	B ほぼ期待どおり(69%以上87%未満)
	C 改善を要する(50%以上69%未満)
	D 根本的な改善を要する(50%未満)



センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合相談支援業務について、民生児童委員協議会への参加や町会へ広報紙を持参するなど、地域とのネットワークづくりを積極的に行った。</li> <li>・ 地域ケア会議について、地域のサロンの立ち上げにつながるなど一定の効果はあった。しかし、何らかの成果物を作らなければならないという思いが強く、地域の資源等の検討が不十分な部分もあったため、今後は、センター内での検討をしっかりと行いたい。</li> </ul>

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合相談支援業務では、新設センターとして、広報紙を町会に持参する、地域住民を対象とした出前講座の開催のために積極的に声掛けを行うなど、地域とのネットワークづくりを地道に行っていたと評価する。</li> <li>・ 包括的・継続的ケアマネジメント業務では、地域のケアマネジャーのニーズを的確に把握し、研修会を繰り返し実施することでスキルアップを図っていただいていると評価する。</li> </ul>

### 4. 運営体制評価

- ・ 3職種における基準を上回る配置や継続勤務年数が長いことなど、センター事業を円滑に実施できる体制が確保されている。
- ・ 現場の要望も踏まえ職員が働きやすい職場環境を整えるなど、適切な業務管理が行われている。
- ・ 外部研修への参加の機会を確保するなど、教育・研修体制を整備している。
- ・ 同一法人のサービス事業者の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い運営を行っているとして評価する。

### 5. 総評

センターにおいては、各分野全般にわたってバランス良く事業が実施できており、運営法人も職場環境を整えるなど、その実施体制の充実を図っている。

新設センターとして、地域とのネットワーク構築や地域住民の周知に重点を置き、地域に密着した事業を実施していただいたと評価する。

新たに配置された職員が多いことから、今後は、センター全体の意識統一や個々の職員のスキルアップを図っていただくことを期待する。